

資料に親しむ会 令和5年度第1回

「歌川広重が描いた京都」

京都府立京都学・歴彩館職員が「歌川広重が描いた京都」を、下記のとおり開催しました。

記

■ 日 時 令和5年4月11日（火）午後2時30分～3時30分

■ 場 所 京都府立京都学・歴彩館1階 小ホール

■ 参加者数 99名

■ 内 容 まず、歌川広重が生きた文化・文政・天保期の時代背景について、旅行ブームと名所案内の相関性を述べ、広重ブルーと呼ばれた絵画技法を紹介した。
次に、「京都名所之内」の10枚それぞれを『都名所図会』や『都林泉名勝図会』と照らし合わせて考察した。

■ 参加いただいた方々のご意見 （参加者アンケートより）

- ・ 広重と京都の関わりが分かった。
- ・ 広重が市井の人々を細かく描写しているのがよかった。
- ・ 「京都名所之内」と先行する名所図会の対比が分かりやすかった。
- ・ 『都名所図会』と関連づけた視点は初めてだった。
- ・ 興味深い内容で、楽しかった。講師の分析に納得させられた。
- ・ 名所図会に着想を得て、独自の視点で構成している広重の良さが分かった。
- ・ 広重の作品の素晴らしさを改めて知ることができた。

（講座の様子）

